

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式								
E132N003		英語科授業研究(中等) (Research in the English Language Classroom (Secondary Education))							対面								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態							
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用		火1	日本語				単独							
担当教員	氏名 御手洗靖																
	E-mail ymitarai@oita-u.ac.jp 内線 7582																
授業の概要	「英語科指導法(中等)」の内容を発展させた内容です。中学校1,2,3年生の教科書を使って、模擬授業を実演し、指導案を作成することにより、主に英語を使った中学校の授業が適切にできるようになることをめざします。																
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 指導案の作成ができる。											○						
目標2 基本的な授業展開を実演できる。											○						
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
											10						
各DPへの関連度(計10)																	
授業の内容																	
1 ガイダンス																	
2 ITCの使い方																	
3 模擬授業演習1 中学校1年生 前半の範囲																	
4 模擬授業演習2 中学校1年生 後半の範囲																	
5 模擬授業演習3 中学校2年生 前半の範囲																	
6 模擬授業演習4 中学校2年生 後半の範囲																	
7 模擬授業演習5 中学校3年生 前半の範囲																	
8 模擬授業演習6 中学校4年生 後半の範囲																	
9 中学教諭による特別講義																	
10 高校の授業ビデオ研究 1																	
11 高校の授業ビデオ研究 2																	
12 高校教諭による特別講義																	
13 指導案作成1 単元指導案作成																	
14 指導案作成2 本時案作成																	
15 指導案作成3 本時案修正																	
ラ ア ク ニ テ ィ ン グ ブ	A:知識の定着・確認		模擬授業の実演をととして知識を応用できる力を養います。				工 夫 そ の 他 の	なし									
	B:意見の表現・交換		○ 模擬授業の内容について意見を交換します。														
	C:応用志向		○														
	D:知識の活用・創造																
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		・課題に回答してくる。(30h)														
	事後学修		・省察レポートを提出する。(15h)														
	想定時間合計		45														
教科書	・根岸雅史ほか(2025)『New Crown English Series』1 三省堂 ISBN 978-4-385-70648-1 ・根岸雅史ほか(2025)『New Crown English Series』2 三省堂 ISBN 978-4-385-70649-8 ・根岸雅史ほか(2025)『New Crown English Series』3 三省堂 ISBN 978-4-385-70650-4																
参考書	『中学校学習指導要領』平成29年3月告示 文部科学省 978-4827815580 『中学校学習指導要領解説 外国語編』平成29年7月 文部科学省 978-4304051692 『高等学校学習指導要領』平成34年度実施 文部科学省 978-4827815672 『高等学校学習指導要領解説 外国語編』文部科学省 978-4304051784 購入不要。すべてWebからダウンロード可能。																

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート		35%	○									
	授業ビデオの投稿		50%		○								
	授業中のとりくみ		15%	○	○								
注意事項	・遅刻は毎回1点の減点になります。 ・欠席は毎回1点の減点になります。												
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	中学校教諭												
実務経験を いかした教育内容	中学校教諭として、生徒指導と教科指導を統合した授業を実践している。												